

第四号様式（第三条関係）

設計住宅性能評価申請書

（第一面）

年 月 日

一般財団法人 長野県建築住宅センター
理事長 小林 典雄 様

申請者の氏名又は名称

代表者の氏名

印

住宅の品質確保の促進等に関する法律第5条第1項の規定に基づき、設計住宅性能評価を申請します。
この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

※受付欄	※料金欄
年 月 日	
第 号	
申請受理者印	

(第二面)

申請者等の概要

【1. 申請者】

【氏名又は名称のフリガナ】

【氏名又は名称】

【郵便番号】

【住所】

【電話番号】

【2. 代理者】

【氏名又は名称のフリガナ】

【氏名又は名称】

【郵便番号】

【住所】

【電話番号】

【3. 建築主】

【氏名又は名称のフリガナ】

【氏名又は名称】

【郵便番号】

【住所】

【電話番号】

【4. 設計者】

【資格】 () 建築士 () 登録 号

【氏名】

【建築士事務所名】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

【郵便番号】

【所在地】

【電話番号】

【5. 設計住宅性能評価を希望する性能表示事項】

別紙による

【6. 備考】

【一戸建の場合の第二面】

第二面 (別紙)

【地盤の液状化に関する情報提供】

- 地盤の液状化に関する情報提供を行う (情報提供の内容は申出書による)
 地盤の液状化に関する情報提供を行わない

【設計住宅性能評価を希望する性能表示事項】

1・ 構造の安定に関すること

- 1-2 耐震等級 (構造躯体の損傷防止)
 1-4 耐風等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)
 1-5 耐積雪等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)

2・ 火災時の安全に関すること

- 2-1 感知警報装置設置等級 (自住戸火災時)
 2-4 脱出対策 (火災時)
 2-5 耐火等級 (延焼の恐れのある部分 (開口部))
 2-6 耐火等級 (延焼の恐れのある部分 (開口部以外))

5・ 温熱環境・エネルギー消費に関すること

「5-1」又は「5-2」、もしくは「5-1」と「5-2」の両方の選択が必要となります。

- 5-1 断熱等性能等級
 5-2 一次エネルギー消費量等級

6・ 空気環境に関すること

- 6-1 ホルムアルデヒド対策 (内装及び天井裏等)
 6-2 換気対策
 6-3 室内空気中の化学物質の濃度等
特定測定物質 ホルムアルデヒド
特定測定物質 トルエン キシレン エチルベンゼン
 スチレン

7・ 光・視環境に関すること

- 7-1 単純開口率
 7-2 方位別開口比

8・ 音環境に関すること

- 8-4 透過損失等級 (外壁開口部)

9・ 高齢者等への配慮に関すること

- 9-1 高齢者等配慮対策等級 (専用部分)

10・ 防犯に関すること

- 10-1 開口部の侵入防止対策

(注意)

- ① 選択を希望する性能表示事項のチェックしてください。
② 「5・温熱環境・エネルギー消費量に関すること」については「5-1断熱等性能等級」又は「5-2エネルギー消費量等級」、もしくは両方の選択が必要となります。

【共同住宅等の場合の第二面】

第二面 (別紙)

【地盤の液状化に関する情報提供】

- 地盤の液状化に関する情報提供を行う (情報提供の内容は申出書による)
 地盤の液状化に関する情報提供を行わない

【設計住宅性能評価を希望する性能表示事項】

1・ 構造の安定に関すること

- 1-2 耐震等級 (構造躯体の損傷防止)
 1-4 耐風等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)
 1-5 耐積雪等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)

2・ 火災時の安全に関すること

- 2-1 感知警報装置設置等級 (自住戸火災時)
 2-2 感知警報装置設置等級 (他住戸等火災時)
 2-3 避難安全対策 (他住戸火災時・共用廊下)
 2-4 脱出対策 (火災時)
 2-5 耐火等級 (延焼の恐れのある部分 (開口部))
 2-6 耐火等級 (延焼の恐れのある部分 (開口部以外))
 2-7 耐火等級 (界壁及び界床)

4・ 維持管理・更新への配慮に関すること

- 4-4 更新対策 (住戸専用部)

5・ 温熱環境・エネルギー消費に関すること

「5-1」又は「5-2」、もしくは「5-1」と「5-2」の両方の選択が必要となります。

- 5-1 断熱等性能等級
 5-2 一次エネルギー消費量等級

6・ 空気環境に関すること

- 6-1 ホルムアルデヒド対策 (内装及び天井裏等)
 6-2 換気対策
 6-3 室内空気中の化学物質の濃度等
特定測定物質 ホルムアルデヒド
特定測定物質 トルエン キシレン エチルベンゼン
 スチレン

7・ 光・視環境に関すること

- 7-1 単純開口率
 7-2 方位別開口比

8・ 音環境に関すること

- 8-1 重量床衝撃音対策
 8-2 軽量床衝撃音対策
 8-3 透過損失等級 (界壁)
 8-4 透過損失等級 (外壁開口部)

9・ 高齢者等への配慮に関すること

- 9-1 高齢者等配慮対策等級 (専用部分)
 9-2 高齢者等配慮対策等級 (共用部分)

10・ 防犯に関すること

- 10-1 開口部の侵入防止対策

(注意)

- ① 選択を希望する性能表示事項のチェックしてください。
② 「5・温熱環境・エネルギー消費量に関すること」については「5-1断熱等性能等級」又は「5-2エネルギー消費量等級」、もしくは両方の選択が必要となります。

【地盤の液状化に関する申出書】参考情報

項目	提供を行う液状化に係る参考情報の内容			
	情報の種別	情報の有無	表記内容等	添付資料の有無及び添付書類名
(イ) 広域的情報	液状化マップ	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	【液状化に関する表記】 (表記：) 【備考・出典】 ()	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
	液状化履歴に関する情報	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	【住宅敷地】周辺の液状化履歴 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【備考・出典】 ()	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
	地形分類	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	【該当する地形名称】 () 【備考・出典】 ()	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
	その土地利用履歴に関する履歴	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	【旧土地利用】 (種別： <input type="checkbox"/> 水田 <input type="checkbox"/> 池沼・川 <input type="checkbox"/> 海 <input type="checkbox"/> その他) 【備考・出典】 ()	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
(ロ) 液状化に関する個別の住宅敷地の情報	敷地の地盤調査の記録	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	【地盤調査】 (方法： <input type="checkbox"/> スウェーデン式サウンディング試験 <input type="checkbox"/> 標準貫入試験 <input type="checkbox"/> その他 () (仕様：数量 ・ 深度) 【試料採取】 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【備考・出典】 ()	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
	地下水位の情報	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	【地下水位】 () 【測定方法】 () 【備考・出典】 ()	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
	地盤調査から得た液状化に関する指標	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	【指標・備考】	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
	宅地造成工事の記録	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	【造成図面】 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【備考】	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
	液状化に関連して行う地盤に関する工事の記録・計画	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	【工法分類】 【工法名称】 【施工時期】 【工事内容】 【工事報告書】 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【備考・出典】 ()	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
	その他地盤に関する工事の記録・計画	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	【工法分類】 【工法名称】 【施工時期】 【工事内容】 【工事報告書】 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【備考・出典】 ()	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
	(ハ) 液状化に関する当該住宅基礎等における工事の情報	液状化に関して行う住宅基礎等に関する工事の記録・計画	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 未定	【工法分類】 【工法名称】 【施工時期】 【工事内容】 【備考・出典】 ()

住宅の品質確保の促進等に関する法律施行規則第一条第十一号に規定する地盤の液状化に係る情報は、申請者からの申出があった場合に、上記申出書の内容を基に参考情報として提供するものであり、登録住宅性能評価機関が評価するものではありません。

〔建築物に関する事項〕

【1. 地名地番】

【2. 都市計画区域及び準都市計画区域の内外の別等】

都市計画区域内 (市街化区域 市街化調整区域 区域区分未設定)

準都市計画区域内 都市計画区域及び準都市計画区域外

【3. 防火地域】

防火地域 準防火地域 指定なし

【4. 敷地面積】 m²

【5. 建て方】 一戸建ての住宅 共同住宅等

【6. 建築面積】 m²

【7. 延べ面積（床面積の合計）】 m²

【8. 住戸の数】

【建物全体】 戸

【評価対象住戸】 戸

【9. 建築物の高さ等】

【最高の高さ】 m

【最高の軒の高さ】 m

【階数】 地上()階

地下()階

【構造】 造 一部 造

【10. 利用関係】

持家 賃貸 給与住宅 分譲住宅

【11. その他必要な事項】

【12. 備考】

(第四面)

〔住戸に関する事項〕

【1. 住戸の番号】

【2. 住戸の在する階】 階

【3. 専用部分の床面積等】

【居室部分の面積】 m²

【バルコニー等専用使用部分の面積】 m²

【専用部分の床面積】 m²

【4. 当該住戸への経路】

【共用階段】 無 有

【共用廊下】 無 有

【エレベーター】 無 有

【5. 界壁・界床の有無】 ※設計住宅性能評価申請の場合記入

【界壁の有無】 無 有

【界床の有無】 無 有 (上階 下階)

【6. その他必要な事項】

【7. 備考】

(注意)

1. 各面共通関係

数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。

2. 第一面関係

※印のある欄は記入しないでください。

3. 第二面関係

① 申請者からの委任を受けて申請を代理で行う者がいる場合においては、2欄に記入してください。

② 申請者が2以上のときは、1欄には代表となる申請者のみについて記入し、別紙に他の申請者についてそれぞれ必要な事項を記入してください。

③ 建築主が2以上のときは、3欄には代表となる建築主のみについて記入し、別紙に他の建築主についてそれぞれ必要な事項を記入して添えてください。

④ 4欄の郵便番号、所在地及び電話番号には、設計者が建築士事務所に属しているときはそれぞれ建築士事務所のもの、設計者が建築士事務所に属していないときはそれぞれ設計者のもの(所在地は住所とします。)を書いてください。

⑤ 5欄は、必須評価事項以外で設計住宅性能評価を希望する性能表示事項を記入してください。

4. 第三面関係

① 1欄は、地名地番と併せて住居表示が定まっているときは、当該住居表示を括弧書きで併記してください。

② 2欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。ただし、建築物の敷地が都市計画区域、準都市計画区域又はこれらの区域以外の区域のうち2以上の区域にわたる場合においては、当該敷地の過半の属する区域について記入してください。なお、当該敷地が3の区域にわたる場合で、かつ、当該敷地の過半の属する区域がない場合においては、都市計画区域又は準都市計画区域のうち、当該敷地の属する面積が大きい区域について記入してください。

③ 3欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。なお、建築物の敷地が防火地域、準防火地域又は指定のない区域のうち2以上の地域又は区域にわたるときは、それぞれの地域又は区域について記入してください。

④ 5欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

⑤ 11欄の「確認の特例」は、認定の申請に併せて建築基準法(昭和25年法律第201号)第6条第1項の規定による確認申請書を提出して適合審査を受けるよう申し出る場合においては「有」に、申し出ない場合においては「無」に「✓」マークを入れてください。

⑥ 12欄の「利用関係」は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。なお、利用関係が未定のときは、予定する利用関係としてください。また、「持家」、「貸家」、「給与住宅」、「分譲住宅」とは、次のとおりです。

イ. 持家 建築主が自ら居住する目的で建築する住宅

ロ. 貸家 建築主が賃貸する目的で建築する住宅

ハ. 給与住宅 会社、官公署等がその社員、職員等を居住させる目的で建築する住宅

ニ. 分譲住宅 建売り又は分譲の目的で建築する住宅

⑦ ここに書き表せない事項で、評価に当たり特に注意を要する事項は、13欄又は別紙に記載して添えてください。

⑧ 変更設計住宅性能評価に係る申請の際は、15欄に第三面に係る部分の変更の概要について記入してください。

5. 第四面関係

① この面は、共同住宅等に係る申請の場合に作成してください。

② 1欄は、住戸の数が1のときは「1」と記入し、住戸の数が2以上のときは、申請住戸ごとに通し番号を付し、その番号を記入してください。

③ 3欄で住戸の階数が二以上である場合には、【専用部分の床面積】に各階ごとの床面積を併せて記載してください。

④ 4欄及び5欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

⑤ ここに書き表せない事項で、評価に当たり特に注意を要する事項は、6欄又は別紙に記載して添えてください。

⑥ 変更設計住宅性能評価に係る申請の際は、7欄に第四面に係る部分の変更の概要について記入してください。

備考

1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4としてください。

2 第一面は、申請者(申請者が法人である場合にあっては、その代表者)の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

3 第四面に記載すべき事項を別紙に明示して添付すれば、第四面を別途提出する必要はありません。

4 共同住宅等に係る設計住宅性能評価の申請にあっては、第四面を申請に係る住戸ごとに作成した場合、この申請書を共同住宅等一棟又は複数の住戸につき一部とすることができます。